

# 学校教育と図書館

## —司書教諭科目のねらい・内容とその解説—

志保田務（桃山学院大学教授）・北克一（大阪市立大学教授）・  
山本順一（筑波大学教授） 編著

A5判・並製本・360頁・定価3,465円（本体3,300円）＜送料340円＞

### 本書の特色

- 学校図書館司書教諭課程の5科目（「学校経営と学校図書館」「学校図書館メディアの構成」「情報メディアの活用」「学習指導と学校図書館」「読書と豊かな人間性」）の内容を精選してコンパクトに構成しています。
- 各単元のポイントと解説を充実させた構成となっていますので、「教えやすく、学びやすい」司書教諭課程・司書教諭講習のテキストとしてお使いいただけます。
- 司書教諭資格取得用のテキストとして、初心者にも理解しやすいよう平易な文章で記述するとともに、図・表・写真を適宜挿入し、見やすく・使いやすい編集にしています。
- 大学・短期大学の司書教諭課程を担当している教授・講師、また図書館司書・学校図書館司書教諭を多数執筆者に迎え、最新の学校図書館の現状に対応した内容となっています。



### 1 | 学校経営と学校図書館

学校図書館法施行規則の「学校図書館司書教諭講習規程」(1997年改正)第3条に「履修すべき科目」5科目があるが、その単元に科目「学校経営と学校図書館」が示されている。同規程には上記5科目の内容に関する規定がなくその内容(目次)は「学校図書館司書教諭講習規程の一部を改正する省令について」(平成10年3月18日「通知」=局長通達)によることは「はじめに」で概説した。「学校経営と学校図書館」の章にかかわる「目次」【節】は次のとおりである。

- 1) 学校図書館の理念と教育的意義
  - 2) 学校図書館の発展と課題
  - 3) 教育行政と学校図書館
  - 4) 学校図書館と経営(人、施設、資料、予算、評価等)
  - 5) 司書教諭の役割と校内の協力体制、研修
  - 6) 学校図書館メディアの選択と管理、提供
  - 7) 学校図書館活動
  - 8) 図書館の相互協力とネットワーク
- 章名「学校経営と学校図書館」に留意すると、この第1章は「経営」を中心とするものと通常理解される。また「学校経営と学校図書館」を「学校図書館司書教諭講習」科目の単元においたことは、5科目全体を「学校経営」の立場で総合しようとしたものとみられる。だが実際上のこの単元は「経営」にそれほど重要な位置は与えていない。第1章中で「経営」に直結した「学校図書館と経営」は、第4節という目録から離れた位置にあるにすぎないのである。
- 「経営」よりも先に、「学校図書館の理念」(第1節)、「学校図書館の歴史」(第2節)、「教育行政と学校図書館」(第3節)といった総論の「節」がある。「経営」は、総論、つまり基盤的な記述のうちに展開する形がとられている。ただし総論節において、章見出し単語「学校経営」を含む「節」はない。また、

### 2.1 学校図書館メディアの種類と特性

#### 2.1.1 学校図書館メディアの種類

学校図書館法(昭和28年8月8日法律185号)改正平成18年6月21日法律第80号)第2条で、学校図書館とは「図書、視聴覚教育資料その他学校教育に必要な資料(中略)を収集し、整理し、及び保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に協力するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的」としていることとされている。また、ユネスコ学校図書館宣言でも、「図書館職員の、小説からドキュメントまで、印刷資料から電子資料まで、あるいはその中でも深くからでも、幅広い範囲の図書やその他の情報源を利用することを支援する。資料は、教科書や教材、教育方法を補完し、より充実させる。」とある。すなわち、学校図書館メディアとは、その媒体の形式にかかわらず、学校教育や児童・生徒の成長に役立てることができる資料を指す、と考えることができる。メディアの発達に伴って、図書館が提供する情報の媒体も多様化してきている。従来の学校図書館では、図書や雑誌、新聞などの印刷メディアがほとんどであったが、現在では視聴覚資料やネットワーク情報なども学校図書館にとって不可欠な情報源となってきている。

#### ■図表2-1:メディア形態による分類

- ・ 図書
- ・ 連続刊行物
- ・ 視聴覚メディア
- ・ パッケージ系電子出版物
- ・ ネットワーク情報源
- ・ 建物メディア(複製型など)
- ・ ファイル資料(自家制作メディア)



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560  
<http://www.daiichihoki.co.jp>

Tel. 0120-203-694  
Fax. 0120-302-640

# 内容構成

はじめに

## 1 学校経営と学校図書館

- 1.1 学校図書館の理念と教育的意義
- 1.2 学校図書館の発展と課題
- 1.3 教育行政と学校図書館
- 1.4 学校図書館と経営
- 1.5 司書教諭・学校司書の役割と校内の協力体制、研修
- 1.6 学校図書館メディアの選択と管理
- 1.7 学校図書館活動
- 1.8 図書館の相互協力とネットワーク

## 2 学校図書館メディアの構成

- 2.1 学校図書館メディアの種類と特性
- 2.2 学校図書館メディアの選択と構成
- 2.3 学校図書館メディアの組織化
- 2.4 学校図書館メディアの配列
- 2.5 多様な学習環境と学校図書館メディアの構築

## 3 情報メディアの活用

- 3.1 高度情報社会と人間、情報の発達と変化
- 3.2 情報メディアの特性と選択

- 3.3 視聴覚メディアの活用
- 3.4 コンピュータの活用
- 3.5 学校図書館メディアと著作権

## 4 学習指導と学校図書館

- 4.1 学習指導と学校図書館
- 4.2 発達段階に応じた学校図書館メディアの選択
- 4.3 学校図書館メディア活用能力の育成
- 4.4 学習過程における学校図書館メディア活用の実際
- 4.5 情報サービス
- 4.6 教員への支援と働きかけ

## 5 読書と豊かな人間性

- 5.1 読書の意義と目的
- 5.2 読書と心の教育
- 5.3 読書指導の計画
- 5.4 読書指導の方法
- 5.5 児童・生徒向け図書の種類と活用
- 5.6 家庭、地域、公共図書館との連携

学習から実務まで、図書館資料組織化のための必携書!

# 資料組織法 第6版

木原通夫・志保田務・高鷲忠美 著 志保田務・高鷲忠美 改訂  
A5判・386頁(別冊共)・定価2,730円(税込)〈送料340円〉

図書館司書課程の省令科目「資料組織概説」及び「資料組織演習」の基礎から応用までを平明に解説。今回、NCR1987年版改訂3版(NCR1987年版改訂版)をとり入れ、MARC21(US/MARCから変更)ダブリン・コア、メタ・データ等にも言及している。別冊「目録記入実例集」とあわせて、資料組織化の考え方と具体的方法を体系的に理解できるテキストの決定版。

ホームページからのお申し込みは  
〈クレジットカードでもお支払いいただけます。〉



<http://www.daiichihoki.co.jp>